令和６年度

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価の結果報告書
（令和５年度事業対象）

美里町教育委員会

－　目　　次　－

Ⅰ　美里町教育委員会事務事業評価の基本方針　・・・・・・１～２
Ⅱ　教育委員会の活動状況　・・・・・・３～６
Ⅲ　点検・評価の結果
【学校教育点検・評価項目一覧表】　・・・・・・　7
　1　学力向上支援事業　・・・・・・　8
　2　学習支援員事業　・・・・・・　9
　3　心の教室、子どもと親の相談事業　・・・・・・　10
　4　学校図書館図書業務支援事業　・・・・・・　11
　5　小学校外国語指導事業　・・・・・・　12
　6　地域学校保健委員会補助金事業　・・・・・・　13
　7　学校部活動補助金事業　・・・・・・　14
　8　全校体育補助事業　・・・・・・　15
　9　集団宿泊教室事業　・・・・・・　16
　10　芸術鑑賞補助金事業　・・・・・・　17
　11　特色ある教育推進事業　・・・・・・　18
　12　学校運営協議会（コミュニティ・スクール）　・・・・・・　19
【社会教育点検・評価項目一覧表】　・・・・・・　20
　1　人権教育推進協議会補助金事業　・・・・・・　21
　2　青少年育成町民会議補助金事業　・・・・・・　22
　3　放課後子ども教室事業　・・・・・・　23
　4　歴史探訪講座等の開催事業　・・・・・・　24
　5　美里町文化協会補助金事業　・・・・・・　25
　6　地域学校協働本部事業　・・・・・・　26
【社会体育点検・評価項目一覧表】　・・・・・・　27
　1　美里町ナイター陸上記録会　・・・・・・　28
　2　中学校野球美里大会　・・・・・・　29
　3　美里町スポーツレクリエーション（旧町民体育祭）　・・・・・・　30
　4　美里町駅伝競走大会　・・・・・・　31
　5　美里町新春霊台橋マラソン大会　・・・・・・　32
　6　宇城中学校新人駅伝大会　・・・・・・　33
　7　中学生ソフトテニス美里大会　・・・・・・　34
　8　中学生女子バレーボール美里大会　・・・・・・　35
　9　宇城地区高等学校野球美里大会　・・・・・・　36

Ⅰ　美里町教育委員会事務事業評価の基本方針

１．概要

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果について報告書を作成し、議会に提出するとともに公表する。

このようなことから、本町教育委員会でも効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、外部評価委員会による教育委員会所管の事務事業の点検を行う。

２．点検・評価に当たっての基本的な考え方

（１）　成果を重視した行政運営を行うため、事後評価を基本とする。
（２）　評価の客観性、透明性を確保するため外部評価を行う。
（３）　評価の対象・方法は、毎年度見直しを行う。

３．点検・評価の対象

（１）　教育委員会の活動状況
　①　定例及び臨時教育委員会の会議状況
　②　その他の活動状況
（２）　教育委員会の所管する事務事業
　教育委員会が所管する事務事業について教育委員会事務局で協議し、教育委員会で選定する。

４．点検・評価の手順

（１）教育委員及び教育委員会事務局による自己評価
（２）外部評価委員による評価
（３）報告書の作成
（４）教育委員会で報告書の作成
（５）議会への提出及び公表

５．学識経験者の知見の活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第２項の規定により有識者の知見の活用については、点検・評価（自己評価）の結果について、学識経験者を含む５名の外部評価委員に、対象事業についての意見をいただく。

外部評価委員名簿

井　上　正　広	鳴　瀬　信　介	隈　部　淳　一
早津田　直　子	西　川　葉志子	

６．教育委員会としての今後の方向性

担当課自己評価に対する外部評価委員のご意見等を踏まえ、最終的に教育委員会として今後の方向性を下記５つの中から選択する。

拡　充	事業規模・内容をより拡大・充実し継続すべき事務事業
維　持	概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
縮　小	現在の方向性でよいが、事務規模については縮小方向で改善していくべき事務事業
改　善	現在の方向性から見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
完　了	完了した事務事業

（参考）

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」抜粋

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第１項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第３項の規定により事務職員等に委任された事務を含む）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

２　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

Ⅱ　教育委員会議の開催状況

１　教育委員会議

美里町教育委員会の会議は、毎月１回の定例会のほか、必要に応じ臨時会を開催しています。

この会議において、５名の教育委員（教育長１名を含む）が教育行政の基本方針や教育委員会の規則等の制定改廃など、会議において議決を要する事項については次のとおりです。

令和５年度の教育委員会議の開催状況は次のとおりです。

期　日	場 所	議 決 事 項 等
令和5年 4月 25 日 （定例会）	中央庁舎 ２階 大 会 議 室	・美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の認定について ・美里町立小中学校の主任等の任命について ・美里町立小中学校の共同実施事務主任の任命について ・美里町学校運営協議会委員の任命について ・美里町地域学校協働本部運営委員会委員の委嘱について ・美里町社会教育委員の委嘱について ・美里町公民館運営審議会委員委嘱について ・美里町文化財保護委員の委嘱について ・文集みさと編集委員の委嘱について ・美里町スポーツ推進委員の委嘱について
令和5年 5 月 24 日 （定例会）	中央庁舎 ２階 大 会 議 室	・美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の認定について ・美里町いじめ防止基本方針の一部改正について ・美里町地域学校協働本部運営委員会委員の委嘱について ・美里町スポーツ推進委員の委嘱について
令和5年 6 月21日 （定例会）	中央庁舎 ２階 大 会 議 室	・美里町学校給食費補助金交付要綱の一部改正について
令和5年 7月 19 日 （定例会）	中央庁舎 ２階 大 会 議 室	・公の施設の利用に関する熊本市との連携協定について （協議事項）
令和5年 8月 10 日 （臨時会）	中央庁舎 2階第3･4会議室	・令和6年度使用小学校教科用図書の採択について
令和5年 8月 23 日 （定例会）	中央庁舎 ２階 大 会 議 室	・美里町教育委員会外部評価委員会委員の委嘱について

令和5年 9月 20 日 （定例会）	中央庁舎 2階第3･4会議室	･令和5年度美里町教育支援委員会にかかる就学答申について ･美里町物価高騰対策給食費補助金交付要綱の一部改正について
令和5年 10月16日 （定例会）	中央庁舎 2階第3･4会議室	議案提出なし
令和5年 11月20日 （定例会）	中央庁舎 2階第3･4会議室	議案提出なし
令和5年 12月20日 （定例会）	中央庁舎 2階第3･4会議室	･美里町教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の決定について ･美里町物価高騰対策給食費補助金交付要綱の一部改正について ･美里町いじめ問題対策連絡協議会委員の任命について ･令和5年度美里町教育支援委員会にかかる就学答申について
令和6年 1月17日 （定例会）	中央庁舎 2階第3･4会議室	･美里町立小中学校管理規則の一部改正について（協議事項）
令和6年 2月20日 （定例会）	中央庁舎 ２階大会議室	･美里町立小中学校管理規則の一部改正について ･美里町各種研修及び大会参加補助金交付要綱の制定について ･美里町立中学校部活動地域移行検討委員会設置要綱の制定について ･美里町立中学校部活動の拠点校方式による実施要綱の制定について ･美里町就学資金貸付の認定について
令和6年 2月24日 （臨時会）	中央庁舎 教育長室	･令和6年度教職員人事異動の内示について
令和6年 3月25日 （定例会）	中央庁舎 ２階大会議室	･美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の認定について ･美里町就学資金貸付の認定について

２　その他の活動状況

令和５年度における、その他主な活動は次のとおりです。

・スクールバス運行審議会

・美里町教育委員研修（球磨郡山江村）

・熊本県市町村教育委員大会

・宇城市町教育委員全員研修会
・各小中学校訪問
・各小中学校入学式・卒業式
・各小学校運動会、各中学校体育大会、学習成果発表会
・二十歳の祝典（町成人式典）
・美里町教育の日講演会（講師：野口健）
・美里町文化祭
・町民体育祭（美里町スポーツレクリエーション）
・美里町ナイター陸上記録会
・中学校野球美里大会
・美里町駅伝競走大会
・美里町新春霊台橋マラソン大会
・宇城地区中学校新人駅伝競走大会
・中学生ソフトテニス美里大会
・中学生女子バレーボール美里大会
・宇城地区高等学校野球美里大会
他各種大会行事

美里町教育委員会委員名簿

（令和６年４月１日現在）

職　　名	氏　　名	任　　期
教　育　長	宮　嵜　幸　仁	令和４年 12 月 23 日～令和７年 12 月 22 日
教育長職務代理者	野　尻　絹　子	令和５年 12 月 23 日～令和９年 12 月 22 日
委　　員	佐々木　　聡	令和２年 12 月 23 日～令和６年 12 月 22 日
委　　員	西　島　　聡	令和３年 12 月 23 日～令和７年 12 月 22 日
委　　員	霍　本　輝　子	令和４年 12 月 23 日～令和８年 12 月 22 日

Ⅲ　事務事業外部評価点検・評価の結果

事務事業外部評価点検・評価項目

番号	担当係	事 業 名	事 業 内 容	決算額	教育委員としての今後の方向性				
					拡充	維持	縮小	改善	完了
1	学校教育係	学力向上支援事業	児童生徒の学力向上支援のため教師の指導力向上を高めることを目的とする。	3,320,556円	1	3			
2	学校教育係	学習支援員事業	特別支援学級及び通常学級において、さまざまな個性をもった児童生徒に、学級の担任と協力し学習支援を行う。	26,841,508円		4			
3	学校教育係	心の教室、子どもと親の相談事業	悩みや不安を抱える児童生徒及び保護者に対し、気軽に相談できる環境づくりに努める。	2,220,136円		4			
4	学校教育係	学校図書館図書業務支援事業	各学校図書館の業務支援のため、図書司書補等を配置し、児童生徒の学習の基礎となる読書活動支援を図る。	8,196,558円		4			
5	学校教育係	小学校外国語指導事業	児童が英語に接し、低学年から英会話能力を身につけることで、国際化社会に対応する人材を育成する。	2,818,382円		4			
6	学校教育係	地域学校保健委員会補助金事業	学校、地域、家庭の連携のもと、子どもの健康な生活と教育の推進を図るため、中学校区で委員会を設置し活動する。	54,869円		4			
7	学校教育係	学校部活動補助金事業	生徒が協調性、責任性、連帯感を育成し、豊かな人間性を培う部活動における経費の一部を補助する。	693,000円		4			
8	学校教育係	全校体育補助事業	児童が適切な運動の経験をすることと、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育て、健康の保持増進と体力の向上を目的とする活動における経費の一部を補助する。	162,000円		3		1	
9	学校教育係	集団宿泊教室事業	児童生徒が集団生活を通して基本的な行動様式の定着や野外活動を通じて心身の鍛錬に努める事業に補助する。	381,782円		4			
10	学校教育係	芸術鑑賞補助金事業	演劇を鑑賞することによって、心身の調和のとれた発達と人間としての生き方について自覚を深める事業に補助する。	31,000円		4			
11	学校教育係	特色ある教育推進事業	町内小中学校における学校及び地域の特性を生かした特色ある教育活動へ積極的な取り組みを推進する学校に対して、その経費を予算の範囲内で補助する。	1,500,000円		4			
12	学校教育係	学校運営協議会事業 (コミュニティ・スクール)	保護者や地域の住民が、一定の権限と責任を持って学校運営に参画することにより、そのニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させ、よりよい教育の実現を目指し、「地域とともにある学校づくり」をより一層推進する。	565,800円		4			

令和5年度　美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

1事業名	学力向上支援事業	担当課	学校教育課　学校教育係
事業目的	・児童・生徒の学力向上支援のため教師の指導力向上を高めることを目的とする		
活動内容	・学力向上の取組の意識付けとして、令和3年度の実績を基に見直し、学力向上アクションプランを作成した。「教育美里」に関係記事を取り上げたり、審議員訪問や校長会議等で取り上げたりして啓発を図った。3つの柱として、「学びの質の向上、学びの環境の充実、学びの土台づくり」を挙げ、それぞれの柱ごとに具体的な項目を設定し、合計29項目を設定している。設定した項目については、学期末に教師の自己評価を実施し、教育委員会で集計、分析、対策を行い、次学期の取組の方向性を示した。 ・教育審議員授業指導訪問を教師一人あたり年間2，3回実施している。「わかる・楽しい授業づくり5つの心得」を参観の中心的な視点として参観し、授業後に授業者と面談を実施している。毎回、感想箋を作成し、該当校の管理職にも目を通してもらっている。 ・町内の児童生徒の実態を出し合い、町授業改善の取組のテーマを「子どもが考えを表現できる場を位置づけた授業の創造～根拠や適切な理由をもとに自分の考えを伝え合う子どもの育成を目指して～」と設定した。教師が話し合いの目的を明確に伝え、児童生徒が自分の意見を準備した上で話し合いに参加するように努めてもらった。話し合う人数も3～4人程度に絞り、全員が発言しやすい状況を作り、班の意見を全体発表の場で生かすように努める教師が増えてきた。 ・夏季休業中に、授業に関わる教師の全員研修を企画した。宇城地域ワーキンググループ教師（町内）の研究発表と、スクールロイヤーによる「保護者対応の基本」についての講演会を実施する予定だったが、当日の悪天候のため中止した。		
(R5)予算額 (R5)決算額	予算額 3,337,000 円	決算額 3,320,556 円	
(R6)予算額	予算額 3,851,000 円		
担当課 自己評価	・学力向上アクションプランについては、教師に日々の授業等に意識して取り組んでもらうことが必要である。そのため、教師向けに毎月発行している「教育美里」に、関係記事を随時取り上げ、啓発を図った。また、審議員訪問や校長会議等でもアクションプランの項目を取り上げ、自己評価の結果や各種学力調査の結果との因果関係などを取り上げて啓発を図ることができた。1学期末と2学期末の自己評価を比較すると、29項目中16項目で上昇を見ることができた。特に「めあての提示」「しっかり学ぶ時間の設定」「教材・教具の工夫や効果的なICTの活用」については、高評価となっており、授業にもしっかり定着してきている。 ・教育審議員訪問については、教師一人あたり2．3回実施することができた。教師には、事前に学習構想案の略案を提出してもらっている。そうすることで、教師は、授業で目指す「児童生徒に身につけさせたい力」を明確に捉え、授業の流れを構築することになる。教育審議員は、事前に学習構想案を目にし、改善点や注目点を明らかにし、授業参観を行った。授業後の面談では、まず教師のよかったところを褒め、その後に改善点をアドバイスするように努めた。毎回、感想箋を作成し、当校の管理職にも目を通してもらっている。 ・各校共通の授業改善テーマについては、各学校の校内研修のテーマや視点にも織り込んでもらい、日々の授業実践に生かしてもらうことができている。教師が話し合いの目的を明確に伝え、児童生徒が自分の意見を準備した上で話し合いに参加するように努めてもらっている。話し合う人数も3～4人程度に絞り、全員が発言しやすい状況を作り、班の意見を全体発表の場で生かすように努める教師が増えてきている。 ・夏季休業中に、授業に関わる教師の全員研修を企画した。宇城地域ワーキンググループ教師（町内）の研究発表と、スクールロイヤーによる「保護者対応の基本」についての講演会を実施する予定だったが、当日の悪天候のため中止した。スクールロイヤーによる講演会は次の機会に実施したい。		

（外部評価委員の意見） ●教師の意志改善のためにもぜひ必要である。 ●必要な事業の一つと思われる。 ●学力向上と魅力ある授業のために継続してもらいたい。 ●児童・生徒の学力向上には、教師の指導力によるものは大きく、事業の効果も表れており維持が妥当である。 ●学力向上のためには是非継続して取り組んでほしい。	
外部評価委員会としての今後の方向性	拡　充　・　(維　持)　・　縮　小　・　改　善　・　完　了
（教育委員の意見） ●教師の意志改善のためにも継続してもらいたい。 ●児童、生徒の学習意欲と学力向上のために是非継続してほしい。	
教育委員会としての今後の方向性	拡　充　・　(維　持)　・　縮　小　・　改　善　・　完　了

令和5年度　美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

2事業名	学習支援員事業	担当課	学校教育課　学校教育係
事業目的	・特別支援学級及び通常学級において、さまざまな個性をもった児童生徒に対し、一人一人の教育ニーズに応じた指導を、学級担任と協力して学習支援を行い自立できるよう支援する。		
活動内容	・町内5校の小・中学校において、学習支援員（外国語指導助手、医療的支援含む）12名の会計年度任用職員を配置し、（砥用小2名・励徳小2名・中央小3名・砥用中3名・中央中3名、兼務も含む）学級担任と協力し、取り出し指導や教室内での個別指導等を行った。　勤務時間は週30時間勤務である。		
(R5)予算額 (R5)決算額	予算額 26,889,000 円（報酬）	決算額 26,841,508 円（報酬）	
(R6)予算額	予算額 27,866,000 円（報酬）		
担当課 自己評価	授業内で行う一斉指導では難しい児童生徒（発達障がいを含む障がいのある児童生徒や特別な配慮を必要とする児童生徒）に対し、担任以外に学習支援員を配置することにより、よりきめ細かで適切な教育的支援を図ることによって児童生徒の自立に繋がっている。 また、学力のバラつきがあるため、授業内容の定着支援も行い、学力低下を防ぐことにもなっている。		

（外部評価委員の意見） ●可能であれば各学校の学習支援員の配置人数を毎年検討してもらいたい。 ●先生方が満足いく授業や指導ができるように継続してもらいたい。 ●一斉指導ではむずかしい児童・生徒の自立、学力低下防止のために学習支援員の配置は必要である。 ●学習支援員は特別に配慮を必要とする児童に対しても必要なので継続してほしい。	
外部評価委員会としての今後の方向性	拡　充　・　(維　持)　・　縮　小　・　改　善　・　完　了
（教育委員の意見） ●励徳小学校においては、次年度全複式が予想されるため、励徳小学校の複式学級の対応に1人増やすことが必要と考える。 ●配置人数であったり、児童生徒に適した人材を配置することは、中々難しい事ではあるが継続してほしい。 ●学習支援員は、子ども達にとってプラスなので継続してほしい。	
教育委員会としての今後の方向性	拡　充　・　(維　持)　・　縮　小　・　改　善　・　完　了

令和5年度　美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

3事業名	心の教室、子どもと親の相談事業	担当課	学校教育課　学校教育係
事業目的	・悩みや不安を抱える児童生徒及び保護者に対し、気軽に相談できる環境づくりに努める。		
活動内容	・小学校2校（砥用小・中央小を1名が兼務）、中学校2校（砥用中・中央中を1名が兼務）にそれぞ配置し（合計2名）、人間関係や生活習慣等に悩みや不安を抱える児童生徒及び保護者に対し、気軽に相談できる環境づくりに努めた。また、子どもや保護者との面談、また相談内容によっては、SCやSSWとの連携を図り、きめ細かな支援ができた。 ・1校あたり年間480時間程度勤務（約週12時間、月48時間程度の勤務目安）		
（R5）予算額 （R5）決算額	予算額 2,231,000 円（報酬）	決算額 2,220,136 円（報酬）	
（R6）予算額	予算額 2,411,000 円（報酬）		
担当課 自己評価	悩みや不安を抱える児童生徒及び保護者に対し、気軽に相談できる環境づくりに努め、保護者と連携強化を図ったことで、悩みや不安の軽減あるいは解消につながっている。児童生徒との関わりが多い反面、保護者との相談件数が極端に少ないため、保護者との信頼関係を築くのは容易ではなく、苦慮しているケースもある。 中長期的な心のケアが必要な児童生徒が継続しているため、個人面談をすることによって、一人一人の状況把握とケアを行うことができた。		

（外部評価委員の意見） ●相談員の配置や相談の対応時間が足りていないように思う。 ●児童の悩み事や不安事は大小あるが、月48時間では、ケアが不足しているように感じる。 ●悩みや不安を抱える児童・生徒やその保護者を支援していくことは非常に重要であり、事業の継続は妥当である。 ●生徒・保護者の利用しやすい環境で継続してほしい。	
外部評価委員会としての今後の方向性	拡　充　・　(維　持)　・　縮　小　・　改　善　・　完　了
（教育委員の意見） ●児童、生徒、保護者の利用しやすい環境で継続してほしい。	
教育委員会としての今後の方向性	拡　充　・　(維　持)　・　縮　小　・　改　善　・　完　了

令和5年度　美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

4事業名	学校図書館学校司書業務支援事業	担当課	学校教育課　学校教育係
事業目的	・各小中学校図書館の業務支援のため、学校図書業務を担当する職員を配置し、児童生徒の学習の基礎となる読書活動支援を図る。		
活動内容	・各小中学校図書館へ会計年度任用職員の学校図書業務を担当する職員（各学校1名で計5名）を配置し、学校図書館の整理や児童生徒の図書利用の拡大を図る為の年間取組計画（各学校教育諸計画の図書館教育）の作成や、図書活動支援を行った。 ・平成29年度より、リーダー的存在となる学校図書管理員を学校図書指導員と位置づけ、各小中学校の図書指導巡回を行っている。		
（R5)予算額 （R5)決算額	予算額 8,208,000 円（報酬）	決算額 8,196,558 円（報酬）	
（R6)予算額	予算額 9,012,000 円（報酬）		
担当課 自己評価	学校図書館の業務は、児童生徒の読書活動支援に不可欠であり、主体的学習を援助し、図書館の整理、保管に必要な業務である。こども達が本に興味をもつよう各学校で工夫をしており、図書部会等で情報共有を行っている。 また、職員自身も司書資格を取得するなど自己研鑽をはかり、図書利用をさらに進める体制は確立している。		

（外部評価委員の意見） ●効果的な図書館教育を行うためには必須である。 ●職員の意識も高く必要な事業と思われる。 ●様々な国語力を身につけるためには、読書習慣が効果的だと思われ、児童・生徒の読書活動の質・量ともに充実させる上で学校司書業務担当の配置は必要である。 ●図書館が児童・生徒にとっても利用しやすく、楽しめる場所つくりに努めていただくためにも継続してほしい。	
外部評価委員会としての今後の方向性	拡充　・　(維持)　・　縮小　・　改善　・　完了
（教育委員の意見） ●単に図書館の利用だけでなく、司書の方との信頼関係も密になり良い関係性が築けていると思う。 ●読週間は大事なので、読書活動の支援は必要である。	
教育委員会としての今後の方向性	拡充　・　(維持)　・　縮小　・　改善　・　完了

令和5年度　美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

5事業名	小学校外国語指導事業	担当課	学校教育課　学校教育係
事業目的	児童が英語に接し、低学年から英会話能力を身につけることで、国際化社会に対応する人材を育成する。		
活動内容	小学校において、会計年度任用職員の外国語指導助手2名、ALT2名を配置している(ALT2名は中学校にもそれぞれ勤務)。担任と協力し、楽しく基本的な外国語活動を行う中で、コミュニケーション能力の育成を図っている。新学習指導要領の全面実施により、3・4年生は年間35時間の「外国語活動」、5・6年生は教科「外国語科」として年間70時間を英語教育に充てている。 また、美里町独自の事業として、1・2年生の外国語活動の授業時数を20時間確保することにより、他市町村に先立った外国語教育を行っている。授業には、配置した外国語指導助手やALTが参加し、担任の助手として、子どもたちに外国語によるコミュニケーションを図る素地となる資質・能力の育成に関わっている。		
(R5)予算額 (R5)決算額	予算額 173,000 円(消耗品費) 2,703,000 円(報酬)	決算額 115,838 円(消耗品費) 2,702,544 円(報酬)	
(R6)予算額	予算額 173,000 円(消耗品費) 2,722,000 円(報酬)		
担当課 自己評価	英語を通して、他国の言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育っている。 また、低学年の頃からALTや他言語と関わることで、異文化・国際理解をより早い段階で学び触れることができ、興味や関心を持つことに繋がっている。		

(外部評価委員の意見)
●小学生のうちから英語を学んだり、外国の方と接する機会を持つということは意義のある体験の提供であると思う。
●授業以外でもALTの先生と接する機会を積極的に作ってほしい。

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ (維 持) ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

教育委員の意見)
●外国語がより身近になるので良い。
●他の市町村のアイディアを取り入れながら先立った教育を今後も継続してほしい。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ (維 持) ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

令和5年度　美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

6事業名	地域学校保健委員会補助金事業	担当課	学校教育課　学校教育係
事業目的	学校、地域、家庭の連携のもと、子どもの健康な生活と教育の推進を図るため、中学校区で委員会を設置し活動する。		
活動内容	〈砥用地区〉 ・第1回すこやか委員会 　全大会：昨年度(令和4年度)の反省、今年度(令和5年度)の計画と方向性、講話 ・第2回すこやか委員会 　教育講演会（町教育委員会及び町P連との共催） ・第1回運営委員会：本年度(令和5年度)のすこやか委員会について 　　第1回すこやか委員会計画 ・第2回運営委員会：第1回すこやか委員会反省 ・第3回運営委員会：第2回すこやか委員会反省 ・第4回運営委員会：年間計画と次年度の計画 〈中央地区〉 ・はぐくみ委員会運営委員会 ・はぐくみ委員会講演会 ・中央地区保小中連携講演会		
(R5)予算額 (R5)決算額	予算額 80,000 円（補助額）	決算額 砥用地区　14,869 円 中央地区　40,000 円 計　54,869 円	
(R6)予算額	予算額 80,000 円		
担当課 自己評価	それぞれの地域内で学校と関係機関との連携を密にし、児童生徒の豊かな健康生活の向上に繋がっている。また、就学時の情報共有にも有効であり、その後の児童生徒や保護者への対応にも繋がっている。		

（外部評価委員の意見） ●町全体で一つの委員会にならない原因は何でしょうか？ ●児童・生徒の健康な生活の維持向上に向け、学校、地域、家庭が連携して活動を行うことは重要である。 ●地域の連携は不可欠なので更に情報共有に努めてほしい。	
外部評価委員会としての今後の方向性	拡充　・　(維持)　・　縮小　・　改善　・　完了
（教育委員の意見） ●幼・保・小・中連携は大切であり、共通の方向に一緒に進む事が出来るので有効である。	
教育委員会としての今後の方向性	拡充　・　(維持)　・　縮小　・　改善　・　完了

令和5年度　美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

7事業名	学校部活動補助金事業	担当課	学校教育課　学校教育係
事業目的	生徒が協調性、責任性、連帯感を育成し、豊かな人間性を培う部活動における経費の一部を補助する。		
活動内容	**・砥用中（5部）　315,000円補助**（63,000円×5部） 野球部、サッカー部、剣道部、陸上部、バレー部、（柔道部（休部）） **・中央中（6部）　378,000円補助**（63,000円×6部） 野球部、テニス部、サッカー部、バレー部、文化部、陸上部 ※補助金の主な支出内容は、大会参加費負担金及び道具類の購入 ※小学校はH30年度より社会体育へ移行		
(R5)予算額 (R5)決算額	予算額 756,000 円（補助額）	決算額 砥用中　315,000 円（5部） 中央中　378,000 円（6部） 693,000 円	
(R6)予算額	予算額 756,000 円		
担当課 自己評価	中学校では、部活動を通しての体力向上と技能の習熟等を図っており、日常的にスポーツに親しみ、コミュニケーション能力を育むためにも必要である。また、保護者の経済的負担軽減にもつながっている。		

（外部評価委員の意見） ●部活動の経費の一部を補助することにより、保護者の経済的負担を軽減することは必要である。 ●部活動経費は部活補助のために不可欠ですので継続してほしい。	
外部評価委員会としての今後の方向性	拡　充　・　(維　持)　・　縮　小　・　改　善　・　完　了
（教育委員の意見） ●今後、社会体育へ移行していく事を考えると、補助金の在り方や対象になるスポーツ団体の検討が必要と思われる。 ●保護者の経済的負担を軽減する為に支援をお願いしたい。	
教育委員会としての今後の方向性	拡　充　・　(維　持)　・　縮　小　・　改　善　・　完　了

令和5年度　美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

8事業名	全校体育補助金事業	担当課	学校教育課　学校教育係
事業目的	児童が適切な運動の経験をすることと、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育て、健康の保持増進と体力の向上を目的とする活動における経費の一部を補助する。		
活動内容	**・砥用小　54,000円補助** 5月～7月：ジョギングによる体力づくり、50m走、水泳、ゴール型ゲーム(フラグフットボール、タグラグビー) 8月～10月：陸上練習、50m走、100m走、縦割り班で折り返しリレー　など 11月～12月：持久走練習、ゴール型ゲーム(ミニバスケット)、ベースボール型ゲーム(Tボール) 1月～3月：ジョギングによる体力づくり、ゴール型ゲーム(サッカー、ミニバスケット)、縦割り班での長縄(八の字跳び) **・励徳小　54,000円補助** 5月：体つくり運動、6月：走の運動、9月：体力つくり運動、走の運動、10月～12月：走の運動、体つくり運動　※毎週木曜日の業間に実施 **・中央小　54,000円補助** 体育的行事：運動会、水泳大会、陸上記録会 業間：縦割り班スポーツ大会 朝活動：7分間ランニング、8秒間走　など		
(R5)予算額 (R5)決算額	予算額 162,000 円（補助額）	決算額 162,000 円	
(R6)予算額	予算額 162,000 円		
担当課 自己評価	小学校部活動が社会体育へ移行した平成30年度から、学校外のクラブに加入し運動している児童と、加入していない児童の運動（体格）格差が見られ、その差は大きくなる傾向にある。 10歳前後の運動習得に最適な時期に運動の経験をしなければ、生涯にわたって適切な運動の経験のないまま成長する可能性も考えられるため学校全体で取り組むことは必要である。		

（外部評価委員の意見）

●運動に対し積極的ではない児童が、「運動は楽しい！」と思える内容であれば自主性も高まりよりより良いと思う。
●ゲーム、パソコン、、携帯電話など触っている時間が増えているので、身体を思いっきり動かして楽しんでほしい。
●学校部活動の社会体育への移行に伴って生じた児童の運動（体格）格差を全校体育で補おうとする狙いは評価できるものであり、補助金の支出は妥当である。
●児童の運動習慣を身につけるためにも継続して取り組んでほしい。

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ (維 持) ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

（教育委員の意見）

●教師の働き方改革の中、児童が在校する時間も短くなり、全校体育もほぼできなくなっているのが現状ではないか。必要な道具は教材費で購入できる。水泳授業での教師負担を減らすためプールの水質管理をが外部委託するための経費に変更してはどうか。
●運動しない子どもが増加する中必要な事業である。
●運動用の備品を揃える為にも補助金は必要であると思います。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ (維 持) ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

令和5年度　美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

9事業名	集団宿泊教室事業	担当課	学校教育課　学校教育係
事業目的	児童生徒が集団生活を通して基本的な行動様式の定着や野外活動を通じて心身の鍛錬に努める事業に補助する。		
活動内容	・中学校1年生、小学校5年生を対象に「豊野少年自然の家」を利用し、集団生活を通して基本的な行動様式の定着を図るとともに、野外活動を通して心身の鍛錬を行った。 ・小学校の主な活動（1泊2日） 　ウォークラリー、フォトスタンドづくり・アスレチック、ナイトゲームなど 砥用小学校：豊野少年自然の家（75,550円） 励徳小学校：豊野少年自然の家（17,430円） 中央小学校：豊野少年自然の家（90,428円） ・中学校の主な活動（1泊2日） 　レクリンピック、オリエンテーリング、交歓会、講話(ガイドランナー)など 砥用中学校：豊野少年自然の家（103,240円） 中央中学校：豊野少年自然の家（95,134円）		
(R5)予算額 (R5)決算額	予算額 小学校　232,000 円 中学校　520,000 円	決算額 小学校　183,408 円 中学校　198,374 円	
(R6)予算額	予算額 小学校　224,000 円 中学校　384,000 円		
担当課 自己評価	1泊2日での集団生活を通して基本的な行動様式の定着や、心身の鍛錬に繋がる活動が図られている。 また、小小連携・中中連携により合同開催で活動が行われているため、町内の子どもたちの交流の機会が得られている。そして学校間で相互の親睦を深めることができる。		

（外部評価委員の意見）
●担当課の自己評価のとおり良い事業だと思う。
●町内の児童・生徒の交流を深めて、将来につながる人間関係が築ければいいと思う。
●集団生活を通して、自宅での生活のありがたさを感じてほしい。
●児童・生徒にとっても楽しみにしている行事だと思われる。また、普段の学校生活で得られるものとは違った学びでもあると思う。
●町内の子どもたちの親睦を深める事が出来るので今後も継続してほしい。

外部評価委員会としての今後の方向性	拡充　・　(維持)　・　縮小　・　改善　・　完了

（教育委員の意見）
●コミュニケーション能力を養うのには大事な事業である。
●町内学校が合同で行われる事はとても良い経験となり、今後も継続してほしい。

教育委員会としての今後の方向性	拡充　・　(維持)　・　縮小　・　改善　・　完了

令和5年度　美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

10事業名	芸術鑑賞補助金事業	担当課	学校教育課　学校教育係
事業目的	演劇を鑑賞することによって、心身の調和のとれた発達と人間としての生き方について自覚を深める事業に補助する。		
活動内容	・励徳小 劇団天然木公演　10月26日（木）　2校時～3校時 ※補助金の主な支出内容は、消耗品、演奏料及び給食費（劇団員分）		
（R5)予算額 （R5)決算額	予算額 小学校　298,000 円 中学校　340,000 円	決算額 小学校　31,000 円 中学校　0 円	
（R6)予算額	予算額 小学校　285,000 円 中学校　326,000 円		
担当課 自己評価	小中学校で実施する演劇、音楽鑑賞等の文化や芸術に親しみ、また、触れる機会を作ることで、感性や教養、「豊かな心」の育成につながっている。		

（外部評価委員の意見）
●昨年は太鼓と劇団だったが、鑑賞内容はどのように決めているのか？
●色んな芸術に触れてもらいたい。
●演劇・演奏会等の鑑賞をする機会を確保する上でも補助は妥当である。
●演劇・音楽鑑賞・文化や芸術に触れる機会は必要なので補助を継続してほしい。

外部評価委員会としての今後の方向性	拡充　・　(維持)　・　縮小　・　改善　・　完了

（教育委員の意見）
●小・中連携事業で、文化交流センター等を利用した鑑賞も検討してみたらどうでしょうか？

教育委員会としての今後の方向性	拡充　・　(維持)　・　縮小　・　改善　・　完了

令和5年度　美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

11事業名	特色ある教育推進事業(教育寄附金充当分も含む)	担当課	学校教育課　学校教育係
事業目的	美里町立小中学校における学校及び地域の特性を活かした特色ある教育活動へ積極的な取り組みを推進する学校に対して、特色ある教育の推進を図ることを目的とする。		
活動内容	・創意工夫を生かした学校教育の充実と児童生徒の体験的学習活動の充実を図るため、各学校長の裁量を発揮した特色ある教育推進を行った。 ・砥用小学校 2月：いのちの講話、年間：算数科授業の充実、年間：ICT機器環境整備、年間：稲作体験、年間：環境整備、年間：社会科教育の充実、11月：心の教育の充実、学習環境の整備 ・励徳小学校 9月：茶道教室、、1月：ようこそ先輩、12月：れいとくの日、通年：屋内遊具購入、学校運営協議会 ・中央小学校 通年：学校環境整備等、10月・1月：こころの教育(読み聞かせ、芸術鑑賞、講話)、11月：いのちの学習、体験学習　など ・砥用中学校 通年：校内花いっぱい推進・園芸活動、通年：輝きと潤いのある学校づくり、7月：校内ハローワーク、立志のつどい、10月：芸術鑑賞、合唱コンクール、学習成果発表会　など ・中央中学校 2月：教職員・生徒スキルアップ、9月～12月：豊かな心をはぐくむための文化体験、5月～10月：学校や地域が連携を図るための事業、教育環境整備　など		
(R5)予算額 (R5)決算額	予算額 1,500,000 円 （うち、教育寄附金　1,000,000円）	決算額 1,500,000 円 （うち、教育寄附金　1,000,000円）	
(R6)予算額	予算額 1,500,000 円 （うち、教育寄附金　1,000,000円）		
担当課 自己評価	各学校それぞれの地域の特性を活かして、それぞれの学校に合った特色ある教育活動の推進に取り組まれている。この事業は各学校において非常に重要である。 また、令和4年度からは寄附者の意向もあり、教育寄附金分を増額補正している。		

（外部評価委員の意見） ●各学校長の裁量により取り組める事業でもあり、各学校の特色ある教育活動を今後も期待したい。 ●工夫を活かした取り組みで、各学校への補助は継続してお願いしたい。	
外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ (維 持) ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
（教育委員の意見） ●各学校の特色ある教育活動に期待したいです。	
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ (維 持) ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

令和5年度　美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

12事業名	学校運営協議会事業 （コミュニティ・スクール）	担当課	学校教育課　学校教育係
事業目的	保護者や地域の住民が一定の権限と責任を持って学校運営に参画することにより、そのニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させ、よりよい教育の実現を目指す。本町では、令和3年度からコミュニティ・スクール（国版）を導入し、「地域とともにある学校づくり」をより一層推進する。		
活動内容	○　各学校単位に、学校運営協議会を設置している。第1回と第5回は中学校区の小・中学校合同で開催した。第2回～第4回は学校の特色や創意・工夫を生かせるように、各学校単位で開催した。特に5回は、学校運営協議会委員の資質向上のための研修の機会にしている。 ○　学校運営協議会委員の構成は、次の通りである。 ・地域住民4名　・保護者1名　・地域学校協働活動推進員1名　・教育委員会　若干名 ・学校関係者　若干名 昼間の開催であるが、出席率は高い。学校運営協議会委員の意識の高さがうかがえる。 ○　学校運営協議会の活動は、主に次の通りである。 ・学校や地域の課題の共有や未来の担い手をどう育てるかを熟議する。 ・学校運営に関する評価、協働活動、PTA活動等の協議や実働をする。 ・3つの機能の行使する。 ◇校長が作成する学校運営に関する基本方針の承認する。 ◇学校運営について教育委員会又は校長に意見を述べることができる。 ◇ 教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べることができる。 各学校の課題に応じた「熟議」ができるようになった。さらに、課題に応じた「熟議」が課題解決のための「実働」につながることを願う。		
（R5）予算額 （R5）決算額	予算額 690,000 円	決算額 565,800 円	
（R6）予算額	予算額 690,000 円		
担当課 自己評価	めざす子供像を地域・家庭・学校が共有し、実現に向けて協働するためには、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進は有効である。3年目になり、学校運営協議会（コミュニテ・スクール）が目指すものが、学校や運営協議会委員に浸透してきた。学校差はやや感じるが、「熟議」を通して、学校運営協議会の活性化や質の向上が見られる。		

（外部評価委員の意見）
●町民が学校に係ることは、町の活性化にも繋がると思う。
●保護者、地域住民、学校の三者連携の下、「地域とともにある学校づくり」を今後とも維持してほしい。
●学校や地域の課題の共有は不可欠であるため、今後も継続してほしい。

外部評価委員会としての今後の方向性	拡　充　・　(維　持)　・　縮　小　・　改　善　・　完　了

（教育委員の意見）
●各学校のことを町内外の方々に知ってもらう大事な機会だと思われる。
●学校・地域の連携は大切であり、意見を出し合う機会にとっては重要であると思います。

教育委員会としての今後の方向性	拡　充　・　(維　持)　・　縮　小　・　改　善　・　完　了

事務事業外部評価点検・評価項目

番号	担当係	事 業 名	事 業 内 容	決算額	教育委員としての今後の方向性				
					拡充	維持	縮小	改善	完了
1	社会教育係	美里町人権教育推進協議会補助金事業	町内における人権教育の推進及び啓発活動の浸透を図る取組を行う。	100,000円		4			
2	社会教育係	美里町青少年育成町民会議補助金事業	青少年問題の重要性に鑑み広く町民の総意を結集し、次世代を担う青少年の健全な育成を図る取組を行う。	256,000円		3		1	
3	社会教育係	美里町放課後子ども教室事業	授業日の放課後において、小学校の施設を使用し、子どもたちの安心・安全な活動拠点を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強・スポーツ・文化活動など、地域住民との交流活動等を通し機会を提供することにより、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する取組を行う。	0円		4			
4	社会教育係	歴史探訪講座等の開催事業	石橋をはじめとする多種多様な文化財を活用し、郷土の歴史・文化に対し理解と関心が高まるよう歴史探訪講座（生涯学習講座）や説明会・研修会を開催する。	10,000円		4			
5	社会教育係	美里町文化協会補助金事業	町内各文化関係団体相互の連絡調整を図るとともに、本町文化振興に寄与するため、美里町文化協会主催する事業を支援する。	325,000円		4			
6	社会教育係	地域学校協働本部事業	幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が連携・協働して様々な活動を行う。	2,733,628円		4			

令和5年度　美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

1事業名	人権教育推進協議会補助金事業	担当課	社会教育課　社会教育係
事業目的	町内における人権教育の推進及び啓発活動の浸透を図ることを目的とする。		
活動内容	人権教育の研究と実践及び各種研修会の開催と各種研修会への参加。人権教育の研究と実践については、6月に人権教育推進協議会総会を行い、総会後、人権DVD視聴による研修会を行った。7月には町人権教育推進協議会・町青少年育成町民会議・社会を明るくする運動町推進委員会による3団体合同で"社会を明るくする運動　美里町民の集い（美里町人権教育推進大会）"として人権啓発・学習につながる講演会を開催し、123名の参加があった。人権教育の各種研究については、8月に第50回宇城人権教育研究大会、10月に第51回熊本県人権教育研究大会が開催され、職員が参画した。		
(R5)予算額 (R5)決算額	100,000 円	決算額 100,000 円	
(R6)予算額	予算額 100,000 円		
担当課 自己評価	人権は人が生まれながらにして持っている基本的な権利であり、最も尊重されるものである。また、誰もが生涯において人権に対する学びや学習、人権について考える機会が必要であると考える。令和5年度は人権教育推進大会に参画したほか、担当部局により人権町民意識アンケート調査を実施した。今後、アンケート調査結果を踏まえ、町民を対象として人権教育・啓発の取り組みを進めていきたい。		

（外部評価委員の意見） ●引き続き更なる浸透を図ってもらいたい。 ●人権課題は年々変化して来ており、以前はさほど問題とはならなかった言語が今では人権侵害につながる場合もあり、継続した人権教育及び啓発活動は必要である。 ●人権について、正しい知識は必要であるため今後も啓発活動をお願いしたい。	
外部評価委員会としての今後の方向性	拡充　・　(維持)　・　縮小　・　改善　・　完了
（教育委員の意見） ●地域全体の人権意識を高める為にも継続してほしい。	
教育委員会としての今後の方向性	拡充　・　(維持)　・　縮小　・　改善　・　完了

令和5年度　美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

2事業名	青少年育成町民会議補助金事業	担当課	社会教育課　社会教育係
事業目的	青少年問題の重要性に鑑み広く町民の総意を結集し、次世代を担う青少年の健全な育成を図ることを目的とする。		
活動内容	補導部会と育成部会に分けて活動を行う。補導部会は毎月１回、青色回転灯積載車による巡回指導を実施した。また、夏・冬・春休み前の会議で取組を協議し、ふるさと祭り・やまびこ祭りにおいて、巡回補導を実施した。育成部会は、さくら健康フェスタ実行委員会に協力するとともに、大会実施に向けた準備及び大会当日の運営に参画した。		
(R5)予算額 (R5)決算額	256,000 円	決算額 256,000 円	
(R6)予算額	予算額 256,000 円		
担当課 自己評価	青少年の健全育成のため、当初の計画により、補導部会及び育成部会の両部会において、取り組みを実施することができた。今後も青少年を取り巻く環境の変化に対応した事業を展開していきたい。		

(外部評価委員の意見) ●インターネットやSNS等の健全化にも力を入れてもらいたい。 ●次世代を担う青少年の健全な育成を図ることは重要であり、取り組みの継続は必要である。 ●今後も青少年の健全育成のため継続は必要である。	
外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ (維 持) ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
(教育委員の意見) ●さくら健康フェスタへの協力より、今もっと青少年の育成に問題となるインターネットやSNSの具体的状況把握、対策のために民間業者にネットパトロールを依頼したり、関係機関との連携を強めたりする方向に進めるべきではないか。 ●インターネット等によるトラブルが心配な面もあるので、学校や地域と連携しながら取り組んでいただきたい。	
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ (維 持) ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

令和5年度　美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

3事業名	放課後子ども教室事業	担当課	社会教育課　社会教育係
事業目的	授業日の放課後において、小学校の施設等を使用し、子どもたちの安心・安全な活動拠点を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強・スポーツ・文化活動など、地域住民との交流活動等を通し機会を提供することにより、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。		
活動内容	新型コロナウイルス感染症5類移行直後の中で、学校側の事業受け入れが難しい状況であり、スタッフの高齢化等により、コーディネーター等のリーダー人材の確保が困難となったため、実施を見送った。		
(R5)予算額 (R5)決算額	予算額 2,774,000 円	決算額 0 円	
(R6)予算額	予算額 2,774,000 円		
担当課 自己評価	町の現状として、核家族化、地域の繋がりの希薄化、共働き世帯の増加などがあるが、本事業は子どもたちの居場所づくりや子育てを地域住民の方々が主となり参画して行う地域教育を推進する取り組みのひとつと考える。令和5年度は実施を見送ったが、新たな運営スタッフ人材の確保等、事業再開に向けて取り組みを進めていきたい。		

(外部評価委員の意見)
●令和5年度も見送りとなり事業の必要性を検討していただきたい。
●事業の必要性を確認するべきだと思われる。必要であれば具体的な内容を提案して、人材確保に取り組んでもらいたい。
●放課後の居場所づくりの一つとして、また子供たちの安心・安全な活動拠点の確保という観点から本事業の実施は重要と思われる。しかしながら、事業に携わる人材の確保が困難な状況を考えると、先ずはスタッフ等の負担軽減の観点から縮小しての事業展開も一つの案かもしれない。
●学童事業と目的や活動が重なるところがあるため、事業としては要検討は必要である。

外部評価委員会としての今後の方向性	拡充 ・ (維持) ・ 縮小 ・ 改善 ・ 完了

(教育委員の意見)
●主に小学校低学年が対象だが、こども達の安心・安全な居場所作りをして必要だと思われる。
●人員確保等困難な面も多いと思いますが、出来るだけ実施してほしいです。

教育委員会としての今後の方向性	拡充 ・ (維持) ・ 縮小 ・ 改善 ・ 完了

令和5年度　美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

4事業名	歴史探訪講座等の開催事業	担当課	社会教育課　社会教育係
事業目的	石橋をはじめとする多種多様な文化財を活用し、郷土の歴史・文化に対し理解と関心が高まるよう歴史探訪講座（生涯学習講座）や説明会・研修会を開催する。		
活動内容	受講生32名により、年4回の講座を開催した。受講生に幅広い視点から文化財について考えていただく狙いにから、第1回は、10月25日（水）、『三角西港と世界遺産』題して、宇城市教育委員会の神川めぐみさんによる講話を開催した。第2回は、11月27日（月）に、『轟貝塚について』と題して、宇土市教育委員会の芥川博士さんによる講話を開催した。第3回は、1月25日（木）に、山都町教育委員会の西慶喜さんによる講話を開催した。第4回は、3月1日（金）に、『国宝　通潤橋に思う矢部井手のこと』と題して、フットパス研究所代表の井澤るり子さんによる講話を開催した。		
(R5)予算額 (R5)決算額	予算額 40,000 円	決算額 10,000 円	
(R6)予算額	予算額 40,000 円		
担当課 自己評価	当初計画通り4回を開催し、延べ89名の参加があった。受講生に、町内外の歴史・文化に対し理解と関心が高めていただくことができた。今後も、町の伝統文化の継承や文化財保護意識の向上を図るため、事業を継続していきたい。		

（外部評価委員の意見） ●宇城地域の歴史や文化について興味・関心をもってもらう一つの機会提供として、本事業の継続は意義あるものだと思う。	
外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ (維 持) ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
（教育委員の意見） ●ただ歴史すきの町民への対応という事ではなく、教育振興基本計画に示されている、町民が故郷の歴史を学び、先人の思いや活動を理解し、ふるさと美里に誇りを持つための講座内容にしていただきたい。 ●町内の文化財の関心を高める為にも継続してほしい。	
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ (維 持) ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

令和5年度　美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

5事業名	美里町文化協会補助金事業	担当課	社会教育課　社会教育係
事業目的	町内各文化関係団体相互の連絡調整を図るとともに、本町文化振興に寄与する。		
活動内容	美里町文化協会主催により、年1回の主催事業の実施と文化祭を開催した。主催事業については、7月に竹下景子さんによる「おはなしの世界」（朗読会）を実施し、約360名の方々が来場され、協会員の作品展示によるサークル展も同時開催した。文化祭については、11月3日の「発表の部」で、所属サークル等の30団体、延べ178人が出場し、書道パフォーマンス・日本舞踊・ダンス・ピアノ・詩吟など、計38種目を発表した。併せて10月28日から「展示の部」も開催し、絵画・俳句・陶芸・竹細工など、小中学校・保育園・幼稚園を含む21団体、664点の作品を展示した。		
（R5）予算額 （R5）決算額	325,000 円	決算額 325,000 円	
（R6）予算額	予算額 420,000 円		
担当課 自己評価	美里町文化協会への支援・連携により、当初の計画通り、主催事業及び文化祭を実施することができた。近年、サークル数及び会員数が減少傾向にあるため、協会予算に応じた事業規模・内容を創意工夫しながら、適切かつ効果的な支援を継続していきたい。		

（外部評価委員の意見）
●日常の生活に楽しみがもてるよう継続してもらいたい。
普段の文化活動の発表の場を確保するうえでも、補助金の支出は妥当であり、関係者にとっては文化祭等の開催は練習等の励みになっていると思う。
●所属サークル発表は、会員の方々の発表の場であるため継続補助をお願いしたい。

外部評価委員会としての今後の方向性	拡充　・　(維持)　・　縮小　・　改善　・　完了

（教育委員の意見）
●中々少ない発表の場だと思うので継続してほしい。

教育委員会としての今後の方向性	拡充　・　(維持)　・　縮小　・　改善　・　完了

令和5年度　美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

6事業名	地域学校協働本部事業	担当課	社会教育課　社会教育係
事業目的	幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が連携・協働して様々な活動を行うことを目的とする。		
活動内容	〇コーディネート会議 推進員6名、教育委員会若干名、必要に応じて学校関係者を加えて、年8回、地域と学校をつなぐコーディネートの具体的方法・内容を検討した。 〇学校支援の会 学校支援団体及び個人、推進員、学校関係者、教育委員会で構成し、交流や穏やかなネットワークづくりのために年2回開催した。 〇地域学校協働本部運営委員会 行政、学校、地域住民、地域学校協働活動推進員で構成し、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進の方向性や評価を行うため、年2回開催した。 〇地域学校協働活動（154件） 学校や学校運営協議会から要請を受け、地域の人材を活用した授業　36件		
(R5)予算額 (R5)決算額	3,234,000 円	決算額 2,733,628 円	
(R6)予算額	予算額 3,254,000 円		
担当課 自己評価	地域学校協働活動の要請数は実績36回で多様な活動が展開できた。学校支援ボランティアの人材バンク登録は実数111名。地域推進員5名が地域と学校をつなぐ「コーディネート」の中心的役割を果たし、学校からの要望に適切な支援ができた。「地域からの学校支援」が多く「学校からの地域貢献」の数は少ないが、「双方向」という視点を目指すようにする。中学生のKABとの協賛「ふるさとCMづくり」は、地域貢献や地域創生につながる活動となった。		

(外部評価委員の意見) ●学校支援ボランティアの人材バンク登録も昨年度より増加しており、今後も多様な活動が期待できる。	
外部評価委員会としての今後の方向性	拡　充　・　(維　持)　・　縮　小　・　改　善　・　完　了
(教育委員の意見)) ●地域全体で学校を盛り上げていく取り組みもあるし、人材バンク登録も素晴らしい方々で今後の活動にも期待できると思います。	
教育委員会としての今後の方向性	拡　充　・　(維　持)　・　縮　小　・　改　善　・　完　了

事務事業外部評価点検・評価項目

番号	担当係	事 業 名	事 業 内 容	決算額	教育委員としての今後の方向性				
					拡充	維持	縮小	改善	完了
1	社会体育係	第31回 美里町ナイター陸上競技記録会 (委託料)	参加者相互の交流と連帯を深め、自己の体力を養いスポーツの基礎である陸上競技の技術を身につけ、少しでも高い記録に到達できるよう挑戦することを目的に実施。	191,142円		1		3	
2	社会体育係	第38回　中学校野球美里大会 (補助金)	中学生の健全な精神と身体の発達を期し、スポーツマンシップの高揚と技術の向上を図るとともに、近隣中学校との親睦を深めることを目的に実施。	148,162円		4			
3	社会体育係	令和5年度美里スポーツレクリエーション 旧町民体育祭	広く町民にスポーツを普及し、健康増進とスポーツ精神の高揚を図り、併せて明るく豊かな町づくりに寄与することを目的に実施。	400,614円		4			
4	社会体育係	第20回美里町駅伝競走大会 (町体育協会予算)	町民の健全な精神と体力の向上を図り、長距離選手の育成と連帯性ある町づくりに寄与し、併せて郡市対抗駅伝競走大会の選手選考を兼ねて実施。	150,000円		4			
5	社会体育係	第53回 美里町新春霊台橋マラソン大会	走ることはすべての運動の基礎であり、体力づくりや健康づくりに欠かせないもので、幼年から高齢者に至るまですべての人に適切な運動である。新春にふさわしく、家庭の「ふれあい」と地域仲間の連帯性を深めることを目的に実施。	327,230円		1		3	
6	社会体育係	第44回宇城中学校新人駅伝大会	中学生の健全な精神と体力増強をめざし、各学校独自の工夫がそれぞれなされ取り組まれている。こういった中でスポーツでも一番苦しいとされている駅伝大会を計画し、スポーツマンシップの高揚と宇城管内の中学生の親睦を深め、冬季トレーニングの成果発揮の場として実施。	41,600円		4			
7	社会体育係	第28回 中学生ソフトテニス美里大会	技術の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健全な中学生の育成と相互の親睦を図ることを目的に実施。	24,777円		4			
8	社会体育係	第52回 中学生女子バレーボール美里大会	宇城管内及び近隣の各市町の中学校バレーボール部の親睦、融和を深めるとともに、生徒の健全な育成を図ることを目的に実施。	86,902円		4			
9	社会体育係	第42回 宇城地区高等学校野球美里大会 (委託料)	高校生の健全な精神と体力を養成し、スポーツマンシップの高揚と技術の向上を図るとともに、地域社会への高校野球の正しい理解を得ることを目的に実施。	239,424円		3		1	

令和5年度　美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

1事業名	第31回美里町ナイター陸上記録会	担当課	社会教育課　社会体育係
事業目的	参加者相互の交流と連帯を深め、自己の体力を養いスポーツの基礎である陸上競技の技術を身につけ、少しでも高い記録に到達できるように挑戦することを目的に実施。		
活動内容	「美里町陸上競技協会」に委託し、8月5日（土）に美里町総合運動公園グラウンドにおいて延べ36人の参加により開催した。 ※参加費なし ※予算支出用途（消耗品費・仮設照明の設置手数料・食糧費）		
(R5)予算額 (R5)決算額	220,000 円	決算額 191,142 円	
(R6)予算額	予算額 220,000 円		
担当課 自己評価	小中学生の練習の成果を発揮する場として有効と思われる。令和5年度から県中体連が7月下旬までに行われることと少子化の影響と思われるが、参加者が想定よりもかなり少なかった。令和6年度は県中体連の前に開催し、参加者の増加を図る。		

（外部評価委員の意見）
●様々なパターンを試行して検討していただきたい。
●必要性を確認するべき時期だと思う。
●延べ36人の参加とあるが、複数協議に参加した小中学生もいると考えられると参加実人数はさらに少なくなると思う。改善を望みたい。
●事業名の変更も検討する必要があるが、今後の大会の必要性も検討する必要がある。

外部評価委員会としての今後の方向性	拡充　・　維持　・　縮小　・　(改善)　・　完了

（教育委員の意見）
●スポーツ人口の減少とコロナ過とも重なり参加人数が年々と減少傾向にあるが必要な事業であると思われる。
●少子化が進んでおり、参加者も年々減少している為、今後も継続して行くか検討するする必要があると思います。また、大会内容の改善も必要だと思います。

教育委員会としての今後の方向性	拡充　・　維持　・　縮小　・　(改善)　・　完了

令和5年度　美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

2事業名	第38回中学校野球美里大会	担当課	社会教育課　社会体育係
事業目的	中学生の健全な精神と身体の発達を期し、スポーツマンシップの高揚と技術の向上を図るとともに、近隣の中学校との親睦を深めることを目的に実施。		
活動内容	「美里町中学校野球実行委員会」に補助金を支出し、9月9日（土）に美里町総合運動公園グラウンドにおいて宇城管内のチームを対象に、中体連後の新人戦と位置付け3チームの参加で開催した。 ※参加費8,000円／チーム（砥用中・中央中は免除） ※予算支出用途（メダル・消耗品費） ※結果：優勝（鶴城中）　準優勝（砥用中・中央中の合同チーム）		
（R5）予算額 （R5）決算額	予算額 150,000 円	決算額 148,162 円	
（R6）予算額	予算額 150,000 円		
担当課 自己評価	中体連後、夏休みの練習の成果を試す有効な大会と思われる。新型コロナウイルス感染症の5類移行後、町外の大会や各中学校の行事等が行われるため開催時についての検討が必要と思われる。		

（外部評価委員の意見） ●開催時期などの検討を踏まえて継続してもらいたい。 ●部員減少に伴う休部や合同チームの増加を踏まえ、実施要領の検討を行い継続してもらいたい。 ●町外の大会や学校行事との兼ね合いもあるため、今後も継続して大会運営を進めるか検討する必要がある。	
外部評価委員会としての今後の方向性	拡充　・　(維持)　・　縮小　・　改善　・　完了
（教育委員の意見） ●実施要綱の検討を行い継続してほしい。	
教育委員会としての今後の方向性	拡充　・　(維持)　・　縮小　・　改善　・　完了

令和5年度　美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

3事業名	美里スポーツレクリエーション （旧町民体育祭）	担当課	社会教育課　社会体育係
事業目的	広く町民にスポーツを普及し、健康増進とスポーツ精神の高揚を図り、併せて明るく豊かな町づくりに寄与することを目的に実施。		
活動内容	10月８日（日）にB＆G海洋センター付近において、モルック、スラックライン、スポーツ吹矢、レク式体力チェックの体験イベント、ロアッソ熊本による小学生を対象としたサッカー教室（ウォーキング、ノルディックウォーキングは雨天の為中止）を開催した。 ※参加費なし ※予算支出用途（用具代・派遣費用・消耗品費等）		
（R5）予算額 （R5）決算額	予算額 550,000 円	決算額 400,614 円	
（R6）予算額	予算額 500,000 円		
担当課 自己評価	当日の天候不良と初めて行うイベントという事もあり、により参加者が集まるか不安があったが小学生から70歳以上の方約200人程の参加かあったと思われる。今後もスポーツ推進委員を中心に参加者のニーズを捉え内容等も充実させて開催していきたい。、		

（外部評価委員の意見） ●工夫改善されてきたので今後も検討を踏まえて実施てもらいたい。 ●時代に合わせた模様紙になったと思う。より活気あるイベントになるように期待したい。 ●令和5年度から以前の町民体育祭に変えて、本事業に取り組まれたという事であり、天候不良の中でも200名程度の参加があったようであり、維持が妥当である。	
外部評価委員会としての今後の方向性	拡　充　・　(維　持)　・　縮　小　・　改　善　・　完　了
（教育委員の意見） ●スポーツを通じて地域連携し、交流が出来る事はとても良いし、本事業に取り組まれた事で参加者も多かったので継続してほしいです。	
教育委員会としての今後の方向性	拡　充　・　(維　持)　・　縮　小　・　改　善　・　完　了

令和5年度　美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

4事業名	第20回美里町駅伝競走大会	担当課	社会教育課　社会体育係
事業目的	町民の健全な精神と体力の向上を図り、長距離選手の育成と連帯性のある町づくりに寄与し、併せて郡市対抗駅伝競走大会の選手選考を兼ねて実施。		
活動内容	「美里町陸上競技協会」に委託し、12月10日（日）町営球技場付近の7区間17.1km の周回コースにおいて、町スポーツ協会支部から13チームの参加により開催した。 ※参加費なし ※予算支出用途（区間賞メダル・アスリートビブス・消耗品費等） ※結果：優勝（浜戸川右岸）　準優勝（浜戸川左岸）　3位（西部支部）		
(R5)予算額 (R5)決算額	予算額 150,000 円	決算額 150,000 円	
(R6)予算額	予算額 150,000 円		
担当課 自己評価	今回初めて7区間17.1km（前回までは14区間27.2km）の周回コースで開催した。周回コースという事もあり、当日は町営球技場付近に多くの応援の方が見られた。今後も区間等の検討を行い継続して行きたい。		

（外部評価委員の意見） ●今大会より工夫されたので、今後もこのような方法で実施したらどうかと思う。 ●令和5年度から区間数と距離を縮小してのコースでの実施ということで、いろいろと改善策を試行されている状況にあると思う。維持が妥当であると思う。 ●地域の連帯感を作るのに効果はあると思うが、支部よっては高齢化等の影響で参加できないので、大会日を12月20日くらいだと地元に帰ってくる大学生や高校生の参加も増え、参加できるチーム数も増えるのではないかと思われる。	
外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ (維 持) ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
（教育委員の意見） ●選手の確保が一番の課題でしょう。 ●内容等も工夫され、健康維持を目標に継続してほしい。	
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ (維 持) ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

令和5年度　美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

5事業名	第53回美里町新春霊台橋マラソン大会	担当課	社会教育課　社会体育係
事業目的	走ることは全ての運動の基礎であり、体力づくりや健康づくりに欠かせないもので、幼年から高齢者に至るまで全ての人に適切な運動である。新春にふさわしく家庭の「ふれあい」と地域仲間の連帯性を深めることを目的に実施。		
活動内容	「美里町陸上競技協会」に委託し、1月1日（月）総合運動公園グラウンド発着コース（9種目・男女年齢別）において町内外より224名（町内41名、町外183名）が参加して開催した。 ※参加費　高校生以上1,000円、小中学生500円、未就学児（無料） ※予算支出用途（参加賞・メダル・賞品・アスリートビブス・消耗品費等）		
(R5)予算額 (R5)決算額	予算額 352,000 円	決算額 327,230 円	
(R6)予算額	予算額 519,000 円		
担当課 自己評価	町内への帰省中の参加者や毎年楽しみにされている町外からの参加者が多数を占めており、町のPRには一定の効果があると思われる。 年末から年始にかけての準備・大会となり、役員やスタッフに負担もあるが、町外から美里町に帰省中の参加者には、元日におこなれる大会を楽しみにされている参加者もある。今後は周知方法等を検討して広くPRする必要がある。		

（外部評価委員の意見） ●事業の目的及び開催時期の検討が必要と思われる。 ●令和4年度が228名参加。令和5年度が224名参加と実績としては十分であると思うが、1月1日の実施は関係者の負担が大きすぎると考える。	
外部評価委員会としての今後の方向性	拡充　・　維持　・　縮小　・　(改善)　・　完了
（教育委員の意見） ●開催日の変更は毎年の課題でもある。	
教育委員会としての今後の方向性	拡充　・　維持　・　縮小　・　(改善)　・　完了

令和5年度　美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

6事業名	第44回宇城中学校新人駅伝大会	担当課	社会教育課　社会体育係
事業目的	中学生の健全な精神と体力増強をめざし、各学校独自の工夫がそれぞれなされ取り組まれている。こういった中でスポーツでも一番苦しいとされている駅伝大会を計画し、スポーツマンシップの高揚と宇城管内の中学生の親睦を深め、登記トレーニングの成果発揮の場として実施。		
活動内容	2月25日（日）町営球技場スタート・ゴールの駅伝コース（男子・6区間・18.0km）（女子5区間・12.0km）において宇城管内の中学校より男子15チーム、女子12チームが参加して実施した。 ※参加費2,000円／チーム（砥用中・中央中は免除） ※予算支出用途（レプリカ・メダル・アスリートビブス・消耗品費等） ※結果：　男子　優勝（松橋中A）　2位（鶴城中A）　3位（住吉中） 　　女子　優勝（松橋中A）　2位（住吉中）　3位（鶴城中A）		
(R5)予算額 (R5)決算額	予算額 77,000 円	決算額 41,600 円	
(R6)予算額	予算額 119,000 円		
担当課 自己評価	新チームになって冬季の練習の成果を試す良い機会と考える。 安全面については、事故等が発生しないよう十分配慮したい。		

（外部評価委員の意見） ●参加チームも多く、新チームのトレーニングの成果をみる有効な大会として機能していると思う。	
外部評価委員会としての今後の方向性	拡　充　・　(維　持)　・　縮　小　・　改　善　・　完　了
（教育委員の意見） ●新チームの成果をみる大会でもあるので継続してほしい。	
教育委員会としての今後の方向性	拡　充　・　(維　持)　・　縮　小　・　改　善　・　完　了

令和5年度　美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

7事業名	第28回中学生ソフトテニス美里大会	担当課	社会教育課　社会体育係
事業目的	技術の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健全な中学生の育成と相互の親睦を図ることを目的に実施。		
活動内容	5月3日（水・祝日）にカントリーパークテニスコートにおいて中体連前の練習の成果の確認の大会として県内各地区の中学校から、男女各12チームの参加により開催した。 ※参加費2,000円／チーム（中央中は免除） ※予算支出用途（入賞賞品・消耗品費等） ※結果：　男子　優勝（中央中）　準優勝（木山中A） 　　女子　優勝（木山ソフトテニスクラブ）　準優勝（中央中）		
(R5)予算額 (R5)決算額	予算額 60,000 円	決算額 24,777 円	
(R6)予算額	予算額 63,000 円		
担当課 自己評価	中体連に向けて練習の成果を試す有効な大会と思われる。県内の強豪校が参加することで町内の中学校のレベルアップにも有効な大会と思われる。		

（外部評価委員の意見） ●宇城圏域を越えて強豪校の参加チームもあるということで、町内の中学校のレベルアップに寄与する大会であると思う。	
外部評価委員会としての今後の方向性	拡　充　・　(維　持)　・　縮　小　・　改　善　・　完　了
（教育委員の意見） ●宇城圏域を越えて強豪校の参加チームもあるということで、町内の中学校のレベルアップに寄与する大会であると思う。 ●レベルアップにも有効な大会と思われるため継続してほしい。	
教育委員会としての今後の方向性	拡　充　・　(維　持)　・　縮　小　・　改　善　・　完　了

令和5年度　美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

8事業名	第52回中学生女子バレーボール美里大会	担当課	社会教育課　社会体育係
事業目的	宇城管内及び近隣の各市町の中学校バレーボール部の親睦、融和を深めるとともに、生徒の健全な育成を図ることを目的に実施。		
活動内容	6月3日（土）に美里町総合体育館において中体連前の練習成果の確認の大会として宇城管内及び上益城郡内から、8チームの参加により開催した。 ※参加費2,000円／チーム（砥用中・中央中の合同チームは免除） ※予算支出用途（入賞賞品・審判謝金・消耗品費等） ※結果：　優勝（豊野中）　準優勝（砥用中・中央中の合同チーム）		
(R5)予算額 (R5)決算額	予算額 133,000 円	決算額 86,902 円	
(R6)予算額	予算額 134,000 円		
担当課 自己評価	中体連に向けての練習の成果を試す有効な大会と思われる。開催時期が体育大会等の行事もあり開催時期の決定に苦慮している。		

（外部評価委員の意見） ●中学生にとっては、中体連に向けての練習の成果を試す有意義な大会であると思う。	
外部評価委員会としての今後の方向性	拡　充　・　(維　持)　・　縮　小　・　改　善　・　完　了
（教育委員の意見） ●中体連に向けての成果を試す有効な大会だと思われる為継続してほしい。	
教育委員会としての今後の方向性	拡　充　・　(維　持)　・　縮　小　・　改　善　・　完　了

令和5年度　美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

9事業名	第42回宇城地区高等学校野球美里大会	担当課	社会教育課　社会体育係
事業目的	高校生の健全な精神と体力を養成し、スポーツマンシップの高揚と技術の向上を図るとともに、地域社会への高校野球の正しい理解を得ることを目的に実施。		
活動内容	「宇城地区高校野球美里大会実行委員会」に委託料を支出し、6月3・4日（土・日）の2日間、美里町総合運動公園グラウンドにおいて、夏の選手権大会熊本県予選に向けた練習の成果の確認の大会として宇城地区及び隣接の高校（合同チーム含む）4校の参加により開催した。 ※参加費10,000円／チーム ※予算支出用途（メダル・審判謝金・消耗品費等） ※結果：　優勝（小川工業高校）　準優勝（宇土高校）		
(R5)予算額 (R5)決算額	予算額 337,000 円	決算額 239,424 円	
(R6)予算額	予算額 337,000 円		
担当課 自己評価	夏の選手権大会熊本県予選に向けて練習の成果を試す有効な大会と思われる。部員不足による合同チームが今後増えることも考えられるが、高野連と協議しながら開催していく。		

（外部評価委員の意見） ●有意義な大会であるが、故に実施要領を工夫しながら継続してほしい。	
外部評価委員会としての今後の方向性	拡　充　・　(維　持)　・　縮　小　・　改　善　・　完　了
（教育委員の意見） ●少子高齢化で人口減少が加速する美里町が今後も存続するために、予算をどのように振り分けていくことが必要か。高校のない美里町でやる意義について、事務局でしっかり検討していただきたい。 ●なぜ、本町に高等学校がないのに主催事業なのかわからない。 ●高野連と協議しながら継続してほしい。	
教育委員会としての今後の方向性	拡　充　・　(維　持)　・　縮　小　・　改　善　・　完　了